

《研究課題名》

血圧管理状況の診療科間差異および経時的推移の後ろ向き観察研究

《研究対象者》

2015 年・2020 年・2025 年・2026 年の各年 1 月 1 日から 12 月 31 日（2026 年は 6 月 30 日まで）の間に、滋賀医科大学医学部附属病院の外来を受診された 18 歳以上の患者の方

研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記研究課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の診療記録（カルテ情報）を用いて行う研究であり、研究目的や研究方法是以下の通りです。情報の使用について、直接ご説明して同意はいただきず、このお知らせをもって説明に代えさせていただきます。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、本研究への情報の利用を希望されない場合、あるいは、本研究に関するご質問は下記（８）の問い合わせ先へご連絡ください。

（１）研究の概要について

《研究期間》 滋賀医科大学学長許可日～2031 年 6 月 30 日

《研究責任者》 滋賀医科大学 循環器内科 高林健介

（２）研究の意義、目的について

《意義》ガイドライン改訂ごとの血圧管理指標（コントロール率、降圧薬処方パターン、併用薬数）の変化を実地診療データから定量化し、診療科間のばらつきを可視化することで、高血圧管理の診療科横断的な質の不均一を明らかにします。得られた知見は、今後の院内血圧管理プログラムの改善に役立てます。

《目的》大学病院外来を受診した患者さんの血圧コントロール率が、日本高血圧学会のガイドライン改訂（2015 年・2020 年・2025 年・2026 年の 4 時点）の前後でどのように変化したかを、診療科別に明らかにすることを目的としています。

（３）研究の方法について

《研究の内容》

電子カルテに記録された診療情報（病名、血圧等のバイタルサイン、検査結果、処方薬剤等）を、医療情報部の管理のもとで抽出し、個人を特定できないよう加工したうえで統計的に解析します。新たな検査や治療を追加することはありません。

《利用し、又は提供する試料・情報の項目》

調査項目は以下の通りで診療録から収集する情報を調査します。

性別、年齢、Body Mass index、収縮期/拡張期血圧、脈拍、既往症、合併症（病名）、血液・尿検査データ、処方薬剤情報

《情報の管理について責任を有する者》

国立大学法人 滋賀医科大学 学長 遠山 育夫

《本研究に用いた情報の二次利用について》

現在の予定はありません。

（４）個人情報等の取扱いについて

本研究を実施する際には、あなたの試料・情報から、あなたを特定できる情報（氏名、生年月日、住所等）を除き、代わりに本研究用の ID を付けることで、その試料・情報が誰のものであるか分からない状態にします。ただし、必要な場合に特定の個人を識別できるように、あなたと ID を結び付けることができるような加工をした情報を残します。尚、加工された情報は、施錠できる場所で担当者によって厳重に管理されます。

（５）研究成果の公表について

本研究の成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。公表の際には個人が特定されることがないように、十分配慮いたします。

（６）研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方又はその代理人の方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。ご希望の場合には、下記（８）の問い合わせ先へご連絡ください。

（７）利用又は提供の停止

本研究の対象となる方又はその代理人の求めに応じて、対象者の方の試料・情報を本研究に利用（又は他の研究に提供）することについて停止することができます。停止を求められる場合には、下記（８）にご連絡ください。

（８）本研究に関する問い合わせ先

担当者：滋賀医科大学 循環器内科 高林健介

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号：077-548-2213

メールアドレス：ktkb@belle.shiga-med.ac.jp